

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

ぎふ木のぬくもりの家

グループの名称

木のぬくもり推進グループ

直近採択グループ番号

06-0326-0410

(グループ代表者)

代表者名

吉田 尚人

代表者印

代表者所属先

旭商事株式会社

代表者所在地

岐阜県岐阜市西河渡2-11

代表者電話番号

058-252-5380

(グループ事務局)

事務局事業者名

ヤマガタヤ産業株式会社

事務局担当者名

北川 広

印

事務局郵便番号

501-0232

事務局所在地

岐阜県瑞穂市野田新田3994-1

事務局電話番号

058-327-2228

事務局FAX

058-327-9782

事務局担当者E-mail

ymg-se@ymg-s.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	ぎふ木のぬくもりの家
2. グループの名称(必須)	木のぬくもり推進グループ
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0326-0410
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、福井県
5. 結成年(必須)	2016 年
6. グループ代表者名(必須)	吉田 尚人
7. グループ代表者の所属先(必須)	旭商事株式会社
8. グループ代表者所在地(必須)	岐阜県岐阜市西河渡2-11
9. グループ代表者電話番号(必須)	058-252-5380
10. グループ事務局事業者名(必須)	ヤマガタヤ産業株式会社
11. グループ事務局担当者名(必須)	北川 広
12. グループ事務局郵便番号(必須)	501-0232
13. グループ事務局所在地(必須)	岐阜県瑞穂市野田新田3994-1
14. グループ事務局電話番号(必須)	058-327-2228
15. グループ事務局FAX番号(必須)	058-327-9782
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	ymg-se@ymg-s.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	8	国有林の為事業者としての登録が不可。原木事業者が海外の為本社の法人登記証明書、念書の入手が不可。
II. 製材・集成材製造・合板製造	21	事業者が海外の為法人登記証明、念書の入手が不可。プレカット事業者が直接仕入れる場合がある。
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	5	
IV. プレカット	6	手刻みでの加工がありプレカット事業者得小経由しない場合がある。製材事業者から直接仕入れる場合がある。
V. 設計	27	施工事業者が設計を行う場合がある。
VI. 施工	33	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPPC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木製製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッド法に基づき合法であることが確認された木材・木製製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材		3	国内	
		外材		3	国外	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		4	国内	
		外材		4	国外	
	ぎふ証明材	岐阜県	岐阜証明材推進制度	1	国内	
	ぎふ性能表示材	岐阜県	ぎふ性能表示材推進制度	1	国内	
	三重の木 認証材	三重県	三重の木認証制度	1	国内	
びわ湖材産地証明材	滋賀県	びわ湖材産地証明制度	1	国内		

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		15	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		4	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	1	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	1	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		2	棟			
					1500	m <sup>2</sup>			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m <sup>2</sup>			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	なるべく新規事業者に広く配分できるよう配慮するが、昨年の反省から確実な実物件がある事業者へ配分する。最後にキャンセルするようがないように配慮する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	10	戸	交付申請戸数	6	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	6	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積		m <sup>2</sup>	交付申請床面積		m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積		m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ぎふ木のぬくもりの家	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、福井県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 木のぬくもり推進グループ	(結成年) 2016年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0326-0410	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	地元の高品質な地域材を活用して耐久性に優れた劣化等級2相当以上の性能を確保する。 年発生するかもしれない南海トラス自身に備え、耐震等級2相当以上の性能を検討する。	近 ◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	構造主要部に一定量の地域材を使用する。 震に備え地盤調査はレイリー波探査機又はスウェーデン式サウンディング試験にて地盤調査を必須とする。	地 ◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	着工前に通風計画を立て、風の通り道、または遮熱の処理の検討を行う(非住宅は除く)。	◎
④①～③の背景	東海、北陸地域は国内でも有数の良質な杉、桧の産地である。 さまざまな報道で大地震に備える意識が施主にも施工業者にもよく浸透している。 には寒冷地や多雪地域もあり、快適で過ごし易い住宅への意識が強い。	さま 一部 ◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	定期的に展示会・勉強会で工事監理や施工レベルアップを前年同様推進する(非住宅は除く)。 光発電、自然冷媒ヒートポンプ給湯機や潜熱回収型給湯器など主外コスト削減設備を1つ以上設置する。	太陽 ◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 木材の各部材について標準仕様を設定、パッケージ化して施工業者が施主に進めやすい仕組みを作る(非住宅は除く)。	主 ◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ループで使用頻度が高い建材を標準仕様として施主に提案するようにしている(非住宅は除く)。	グ ◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 柱の50%以上を指定された地域材。 土台の100%を岐阜証明材もしくは九州桧、四国桧。 桁梁の50%以上を指定された証明材もしくはその他地域材。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内で複数社の単位でも共同購入できる資材を検討する。 流通グループと連携して生産体制の合理化も図る(非住宅は除く)。	使 ◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: の共同化により、発注書、納品書や請求書発行等事務の合理化が図れる(非住宅は除く)。	調 ◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 定期勉強会のグループがその組織を兼任している(非住宅は除く)。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期勉強会などで合理化等に向けた提案や意見交換を行う(非住宅は除く)。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅金融支援機構の施工基準に準拠した工事を行う。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: て施工する事業者には当グループ事務局の指定する共通ルールが守られているかを確認し合う第三者チェックを実施する。	初 ◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループにおける単価、積算方法の基準化する(非住宅は除く)。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ホームページを開設して地域型住宅に関心がある施主へ取り組みを紹介する。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 定期勉強会等で取組についての意見交換など取り上げていく。	◎
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 定期勉強会等で取組についての意見交換など取り上げていく。	◎
③ 社会保険への加入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 定期勉強会等で取組についての意見交換など取り上げていく。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 定期勉強会等で短い時間だが事故案件資料など配布して意識を高めていく。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ぎふ木のぬくもりの家	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、福井県		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 木のぬくもり推進グループ	(結成年) 2016 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0326-0410			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅履歴情報の蓄積			
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第3者機関の提供する住宅履歴システムへ蓄積する。	◎	
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 問い合わせがあれば家カルテを紹介。どこの履歴システムを使うかは施工業者の自由選択。	◎	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局もIDを取得し、いつでも確認できる。	◎	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 震度5強以上の地震発生地域は住宅の緊急点検を行う。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修があれば補修対応処理報告書を事務局へ提出する(非住宅は除く)。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検実施報告書を事務局へ提出する(非住宅は除く)。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主催の勉強会にて実施する(非住宅は除く)。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的なイベントにて施主、業者へ体験できる機会を提供する(非住宅は除く)。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的なイベントにて施主、業者の相談会の場として活用してもらおう(非住宅は除く)。	◎
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり維持管理の検討委員会を設置し情報を提供する(非住宅は除く)。	○		
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 総会や勉強会にてグループ構成員の意見、要望を吸い上げ改善していく(非住宅は除く)。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主フォローを第一とし事務局が中心となり構成員と連携しバックアップする(非住宅は除く)。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 勉強会にて、テーマとしてグループで検討予定(非住宅は除く)。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				
エ. グループの技術力の向上				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良、省エネ住宅に対する研修会やイベントを事務局が開催する(非住宅は除く)。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: とくに未経験工務店は最低年1回の研修参加を強く要請する(非住宅は除く)。	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて出欠席を取り、未参加工務店へは指導を行う(非住宅は除く)。	○	
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 総会において需要計画の行動取決めをする(非住宅は除く)。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 総会において技術力向上の中長期的な計画取決めを行う(非住宅は除く)。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各業種ごとに分科会を組織しその中で改善に取り組む(非住宅は除く)。	○	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 118 今年度の参加目標人数 15	◎	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 31 今年度の参加目標人数 10	◎	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 関係する建築士と相談して講習会開催予定を会員に周知する。	○	
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 桧材以外の地域に適した樹種の粉砕塗壁材の効率的な量産機械の開発を推し進める。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ぎふ木のぬくもりの家	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、福井県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 木のぬくもり推進グループ	(結成年) 2016年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0326-0410		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成30年度対応方針】			
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	柱には合法木材もしくは、岐阜県証明材推進制度、ぎふ性能表示材推進制度の木材および「三重の木」認証制度、びわ湖材産地証明制度あかね材認証制度のいずれかの松・杉材を50%以上の割合で使用使用する。 土台にはぎふ証明材の松または九州松もしくは四国松の合法木材を使用する。 梁にはぎふ証明材またはぎふ性能表示材もしくはその他の地域材、合法木材(海外)を使用する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>地域材の流れ</p> <p>原木: 良質で豊富な地域の森林資源</p> <p>製材工場: 高品質な地域材に製材</p> <p>流通: 良質材の安定提供、資材流通の改善</p> <p>プレカット工場: 高精度の加工</p> <p>施工業者: 高品質な信頼施工</p> <p>お施主様: 木のぬくもりのある安心住宅</p> <p>グループを通して合理化、改善に取り組む</p>	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的な展示会等で業者と納期や在庫量の情報交換しその情報をグループへ伝達する。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて随時業者からの価格情報をグループへ伝達する。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局にて事前に予想される木材の必要量を業者へ連絡し適正な生産、在庫管理をする。	◎
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 本年度の仕様予定枚数(1畳換算): 120枚 6枚 × 20棟 (非住宅は除く)。	○
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 120坪 40坪 × 3棟 (非住宅は除く)。	○
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 48枚 4枚 × 12棟 (非住宅は除く)。	○
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 48枚 4枚 × 12棟 (非住宅は除く)。	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 産地、地産、地消費やそのカタログを常時展示して採用を促進させる(非住宅は除く)。	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各施工業者が伝統的に引き継いでいる得意とする意匠の採用を推奨する(非住宅は除く)。	◎
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 洋風な家でも和風な天井仕上げや軒天井の納めを推奨する(非住宅は除く)。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の住まい方についての情報を常時展示して施主へのPRIに取り組む。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各グループ構成員が地域の町並み形成に積極的に関わろう働きかける。	○
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループに配布している情報チラシなどに和の施工例の写真を載せ紹介する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
カ. その他			
【平成30年度対応方針】			
	東日本大震災の復興に資する取組	昨年に続きグループとして災害時に施主をはじめ地域にどのような支援が出来るか、その仕組みはどうするか総会、勉強会で取り上げ検討する。	○
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	昨年同様なるべく九州産の松土台などを多く使用するようにグループ総会等で取り上げ提案していく。	○

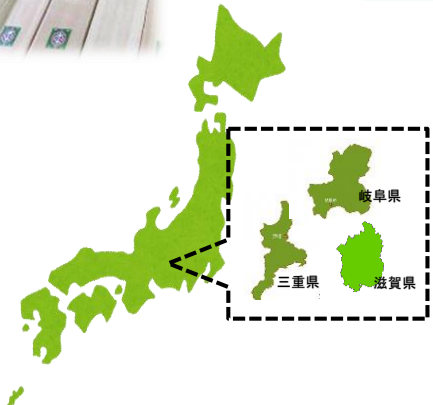
※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) ぎふ木のぬくもりの家	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、福井県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 木のぬくもり推進グループ	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0326-0410	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴  
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。  
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

# ぎふ木のぬくもりの家



岐阜西濃地域、三重中部・北部、滋賀  
比較的温かな地域特性

**①地域材** 柱の50%を指定された地域材。土台の100%をぎふ証明材又は九州、四国産。梁桁の50%以上を指定された証明材もしくはその他地域材

**②耐久性** 近年発生するかもしれない大型地震に備え、耐久に優れた地域材の使用し、耐震等級2相当以上を確保する。

**③エコ** 太陽光やエコキュート、エコジョーズなどの生涯コスト低減設備を1つ以上使用

**④コストパフォーマンス** グループ内で複数社の単位でも共同購入できる資材を検討流通グループと連携して生産体制の合理化も図る

東濃産、岐阜産



寒暖の差が激しい地域で育つ為年輪幅が狭く均整で、強度に優れており、淡いピンク色で表情も良く、また香りも良い、美しくもあり強い木である。

三重の木



三重県の森林は県土の約65%を占めており、その森林から生産される三重の木材は古来より地域の風土や環境と相性がよく三重近隣の家づくりに適している。

びわ湖材



滋賀県は地産地消を進めるために県内でも独自の制度をもち、滋賀の風土にあった「びわ湖材」は一般住宅はもちろん公共施設にも多く採用されている。

ぎふ木のぬくもりの家

地域材を使用した木の香りのする安心高品質な住宅

**優良建築物**  
土地の共同化や有効利用に寄与して地域にも貢献する木のぬくもりを実感できるような優良な建築物の提供



認定低炭素住宅

エネルギーの見える化(HEMSの導入)や節水対策、地域材の利用、ヒートアイランド対策などの低炭素化に資する処置を一定以上取り込んだ住宅の提供

性能向上計画認定住宅

一昨年7月に公布された建築物のエネルギー消費性能に関する法律に対応した住宅を地域材を活用して提供



ゼロエネルギー住宅

近年のエネルギー事情より高まる省エネ意識に答える未来型住宅としてBELS認証を基準とした地域材を活用した快適な住宅を提供

地域型住宅  
グリーン化事業



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。